

# 令和7年度 第1回 福知山鉄道館企画会議

## 議事概要

1 日時 令和7年6月9日（月）午後6時00分～7時30分

2 場所 市民交流プラザふくちやま 4階 4-1会議室

### 3 参加者

委 員	柳井津 佑健 (福知山商工会議所) 福井 佳代 (福知山観光協会) 広瀬 今日子 (サードプレイスツーリズム協議会) 植野 荘二 (西日本鉄道O B会／福知山S L保存会) 前田 智久 (福知山市小学校教育研究会 社会科部長) 宮田 豪 (公募委員) 友塚 純人 (公募委員)
事務局 (福知山市)	森田 成章 (産業部商業観光課長) 藤本 亜実 (〃 商業振興係長) 岡坂 昂洋 (〃 ) 沼田 智貴 (〃 )

### 4 会議概要

次 第	内 容
1 事務局挨拶	森田課長
2 委員長互選	柳井津委員長
3 令和6年度実績 及び現状報告	(資料に基づき説明) (主な意見) ■福知山鉄道フェスティバル（10月14日）について、資料15ページの フクレル入館者数は839人となっているが、資料6ページでは入館者数 が1,022人になっているのはなぜか。 ⇒資料15ページの入館者数は実際に入館された人数。 資料6ページは当日にチョロQを配布しており、そこに並ばれた人を 含む人数。 ■福知山城との入館者比較（資料14ページ）について、6、7月のお城の

	<p>入館者数下がっているが、フクレルの入館者数が上がっているのはなぜか。  ⇒昇龍橋から目に入る場所に、フクレルでお土産を買うことができることを伝える看板の設置、福知山城と美術館の半券（50円引き）の販売を開始したことが要因であると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ショップ販売個数のグラフを見ると、福知山城関連グッズが13%。これがお城に行かれた方であると考えられる。この方たちがフクレルに入館してもらえば、入館者数は増えると考える。</li> <li>■ イベントはこれ以上増やすことはできないのか。  ⇒人員や予算の関係でこれ以上増やすことは難しい。子ども向けイベントなど、小さなイベントをこまめに行っていきたい</li> <li>■ 小学3年生で福知山の歴史について勉強しており、フクレルを訪れた際、「語り部」の方の話はとても勉強になった。</li> <li>■ 鉄道OB会の方は展示できるものは持っていないか。  ⇒持っていると思う。持っている場合は、展示を行っても良いと考える。</li> <li>■ 発信しないと多くの人に伝わらないため、SNSでの広報には力を入れてほしい。</li> <li>■ フクレルで駅弁は販売していないのか。  ⇒イベントで1日だけ販売したことがある。販売できればという意見もあるが食品の衛生面に配慮した管理となるとコストもかかるため難しい。</li> </ul>
4 今年度の運営スケジュールについて	<p>(資料に基づき説明)  (主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鉄道だけで集客は難しいため、他のイベントなどと連携すると集客しやすいと考える。</li> <li>■ コアなファンの方向けのファンクラブのようなものはあるのか。  ⇒ない。1年間入館無料になるサポーター制度はある。  ⇒コアなファンや子育て世代に向けた情報が、ダイレクトに届くシステムがあれば良い。</li> <li>■ 館内の展示物をリニューアルする予定はあるか。  ⇒運転シミュレーターを、その場でお金をいれて遊べるように検討中。</li> <li>■ リピートする客が増えれば、入館者数も増える。子どもには何が人気か  ⇒インタラクティブウォールは人気である。休みの日になると小さいお子さんはキッズスペースで自由に遊んでいる。大人の方は、館内で流している昔の鉄道映像を座ってみておられる方もいる</li> <li>■ お土産を何か一つでも手に取ってもらえるように工夫が必要。オンラインでデジタル印刷できるサービスを活用する。袋の商品を立ててディスプレイするだけでも変わるとと思う。</li> <li>■ 市内の人が来館するように、1か月に1回の特典など限定期的なものを作れ</li> </ul>

ば良いと思う。例として、誕生日の人は無料になるなど。

⇒具体的には決まっていないが、福知山市はベビーファースト宣言を行っているので、他部署と連携した取組も考えている。

■福知山鉄道フェスティバルの時の売り上げが一番高いのか。平均でどのくらいか。

⇒その時が一番高い。日によって違うが、少ない時だと1万円ぐらい。0円という日はなかった。

■ゆらのガーデンでイベントを行ったときは市民の方が来られると考えられるため、お土産の売り上げは伸びない。ファーマーズの時は、市外からも人が来られるため、売り上げは伸びていたと考えられる。

■壁画ラッピングは、イラストを入れるより、大きい文字で「フクレル」と入れた方が良い。現状何の施設かわからないため、遠くから見てもわかるようにした方が良い。

■イベントの開催期間がわかる懸垂幕を設置したら良いと思う。

■フクレル単体のホームページはあるか。

⇒ない。福知山市のホームページにフクレル用のページはある。

■公式SNSをフォローし、「#フクレル」をつけて投稿した人に、何かプレゼントをしたら良いと思う。

■テレビの取材に来もらったことはあるか。その効果はあるのか。

⇒鉄道OB会が声をかけて、企画展の取材に来もらったことはある。フクレルに、番組を見たという方が来られたことはある。

■城にお土産の実物を置き、フクレルでお土産を買うことができることを伝えるスペースを作れば良いと思う。

■城から昇龍橋を渡りたくなるような仕組みを作れば良いと思う。別の地域では、ソフトクリームを持って、橋が写るように撮った写真を投稿している事例がある。訪れた人々が同じように写真を撮り、SNSでの発信が増えたことで、その場所の名物となっている。同じように、フクレルを訪れた際の名物や写真スポットができればよい。

■鉄道OB会の「語り部」はいつ行われているのか。

⇒土、日、祝日に行っている。

⇒コアなファンの方など、詳しい話を聞きたい人もいると思うため、「語り部」についての発信をもっと行った方が良い。福知山市のホームページにも「語り部」について記載した方が良い。